

あすなろ

発行：神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-29 東部療育ビル3階

TEL/FAX 045-441-3901 URL <https://kana-chie.com>

第76号

2025年3月発行

第三の大人としての寄り添い方

ソメイヨシノの開花とともに
町が桜色に染まる

美しい季節になりました

春は旅立ちと出会いの時期

地域の親子も卒業や入園：

新しい生活を迎えます

再開を楽しみに

笑顔でエールを送ります

さて、2月のかめつ子学びタイムは、

「まちの第三の大人としての

寄り添い方」をテーマに、

こどもまんなか社会に舵を切った

時代をかみしめ、「枠をはずして

こどもの人権を尊ぶ軸をもとう」

という、講師からのメッセージを

皆で胸に刻む時間になりました

「迷惑をかけ合っただけで、人と人の

関係が育まれていく」この感覚は、

多世代が混ざりあう、かめつ子だからこそ

伝わりあう大切な文化ですね

かめつ子支え手の皆さんの

「何とかなるわよー」のひと声と

ちよつとした助け船が、一年を通した

親子へのエールとなって、

まちに、人に、沁みわたっていきます



親子のたまり場 訪問

松見第一地区

大口駅近くで、月に2回開催しています。
午後に開けているため、午前中は他の場所で
遊んだり、買い物をしたり「はしごができる」
会場です。

近隣の松見保育園の先生の訪問が普段から
あり、地域と親子が出会える場でもあります。
「支え手さんは我が子と家族のように関わって
くれ、実家の遠い私たちにとって、頼りになる
存在！」と利用者さんが話してくれました。
温かく安心できる、地域の居場所ですね。



三ツ沢地区

三ツ沢墓地を眺める、坂の上にあるみはらしの良い会
場。年始の開催日は、支え手さんがお汁粉をふるまっ
てくれました。会場は2階ですが、お茶タイムは階下であ
り、利用者さんたちは大人同士でゆっくりと甘味を楽し
み、至福の時間。

子どもは支え手さんたちが見守ってくれています。
広い会場は、ゆっくりおしゃべりできるスペースと、
大きい子が遊べるスペースもあります。
会場横の掲示板には、学童期の居場所や高齢者カフェの
チラシがたくさん貼ってあり、誰もがつながれる場所を
つくっている、地域の力を感じる素敵なお場でした。



こどもまんなか社会へ向けて 子どもの声を聴く 「まちの第三のおとなとしての寄り添い方」



講師：天野 秀昭氏

NPO 法人園庭・園外での野育を推進する会理事長/
NPO 法人プレーパークせたがや理事/NPO 法人フリースペースたまりば理事/
一般社団法人気仙沼あそびーばーの会理事/一般社団法人日本プレイワーク協会評議員/
NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会評議員/日本ユニセフ協会 CFCI(こどもにやさしいまち)委員/東京学芸大学講師

羽根木プレーパークは
誕生 45 年！
当時 16 歳だった子は 61 歳！

かめっ子支え手のみなさん総勢 39 名が集い、45年間の長きにわたり子どもと外遊びに関わってきた天野秀昭さんからお話を伺いました。笑いもおこる楽しさの中、メモを取りながら深く頷く姿や、鋭い質問が飛び交う時間に！
その後はグループトークタイム♪ 親子に関わる同じ「かめっ子」の支え手として感じた、率直な意見を交換し、わかち合うことで、学びが腑に落ちていきました。この無形の学びが、またそれぞれのかめっ子に循環していきます。

「遊び」の本質



「虫が好き！」は同じでも
「やりたい」ことは子どもによっていろいろ
一緒に遊ぶのは難しい

自分の「やりたい！」が遊びになる
「遊び」は1人からでも「遊び」

大人は、子どものやりたいの気持ちが出せるような、
●物 = 素材・道具
●人 = 面白そうなことをする人・技を持つ人
●こと = 出来事・イベント・プログラム
の環境作りをしたい。子どもがどれに引っかかるか、子ども自身も分からない。大人は環境作りをして、その子のやりたいを広げていく役になろう。

教育と遊育って？

教える 育てる = 価値のあることを教える、しつけ
遊ぶ 育つ = 本人にとって意味のある、自ら見出した価値で自ら動く

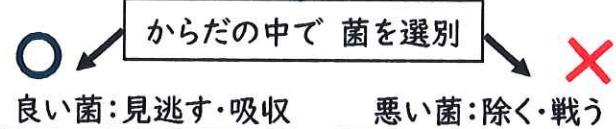
教育は教える人がいて、育てる目的での関わりけれど、遊育は子どもが主体
子ども自身が、自らの力で育っていく

土に触れている？

腸内の分解で
必要な菌の多くは
土の中に住んでいる！

微生物と人間の性質にも
影響があると分かってきた！

土に触れる・汚れることで、体に取り込める



この繰り返しが免疫機能を高める

「きれい」「清潔」を優先しすぎると
必要な物が取り入れられなくなる
選別機能も免疫機能も、遊びから育てられる

生命体として大切なこと

食べる・出す・寝る + 遊ぶ

遊ぶがないと・・・

- やる気がなくなる
- どうでもいい・・・意欲が落ちる
- 心が死んでいく

情動野(脳)

快・不快の感覚は、正・誤に勝る
情動が未熟なまま子ども時代が空白
乳幼児期に感応して、土壌ができる

がまんさせない
何か起こったら、その時
一緒に考える

「やりたい」で始まる私の世界は、自身を癒し育てる力

一人一人が違う世界を持っている。「私」が生き生きしていることが一番！

子どもは AKU の存在 子どもの AKU を面白がる大人になろう!

A あぶない
K きたない
U うるさい

子どもが夢中になって遊ぶと、AKU になる。それは子どもがやったことのない新たな挑戦や、様々な新しいステップ、経験を獲得している場面だから。

AKU が受け入れられにくい社会になっている。

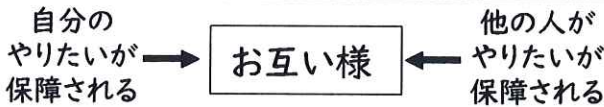
笑って子どものやりたいを見守る大人が増えると
子どもも大人も世界が変わる

少子化は多大化



大人から見ると「少子化」
子どもから見れば、大人が多い「多大化」

いつも大人の目がある状況で、子ども達の逃げ場がなくなっている。子どもも大人も、評価の中で人目が気になり、自分の『やりたい』を大事にできなくなる。私を失くして私の世界が作れなくなる。正しい親像が自分も我慢、相手も我慢... 子どもも大人も息苦しい時代になっていないだろうか。



「お互い様」の気持ちを大切にしたい。子どもには、先へと進んでいくために、歩き続ける力が必要。大人たちは、「子どものやりたい」をどう保証していくかが大事になる。ただずっと我が子と向き合うのは大変。親だけでできないことは、いっぱいあるから、Help を出し、受け止め、支え合う環境をつくっていく。親が楽になる

子どもまなか社会

自分達の現場に、どんな軸を立てるのか
枠はずして軸を立てよう
自分を大事にして=人を大事にするやりとり
「おたがいさまで〜」が広がっていく

「迷惑かけるな」「自立しろ」
は呪いの言葉のよう...

子どもの迷惑なんてたいしたことない。
そもそも自立とは何か?
人はいろんな人に支えられて生きている。
そのことに感謝できる、
それが自立ではないだろうか。

子どもの軸を尊重



安心と安全は別
安全を保障すると大人は枠をはめる。守っていない人に、寛容でない、安心ではない状態。大人は枠を外して、子どものやりたいに折り合いをつけていこう。そして、その子その子が、自分の軸をどこに立てたらいいのか、考えてつくっていくことが大切と思う。

トークで出た素敵なキーワード

子どもたち
やりたいと思うことやらせてあげたい
親子の時間
自然を感じる
外見で感じる
迷惑かけないで済ませたい

新しい刺激を
安全な中で
笑顔 楽しいかめ
地域とつながり
自分も地域の安全な人

感謝
親が生き生き
笑顔
子どもが生き生き
笑顔

みなさんの心に残ったキーワード

- ★ 枠を外して、ワクワクのかめっこにしていこう♪
- ★ 迷惑かけても大丈夫だよと幼児連れのママにはたくさん伝えていきたい。また一緒にやってる支え手にも話していきたいです
- ★ 周りに子どもを見守る大人を増やしたい

- ★ 子どもが自由でいられる場所、時間、大切だ!
- ★ 私たち大人も迷惑かけないようにだけでなく、笑顔で互いにありがとうと言える関係を作りたい
- ★ 大人の価値観を押し付けないように、ほめる言葉がけ、気をつけようと思いました
- ★ 子どもの世界を大切にするためにこそ、大人も生き生きと自分を生きたいですね

今年度のかめっ子親子のたまり場訪問

19箇所の会場に伺うことができました。どの会場も、親子を迎える温かい笑顔がいっぱい！親子はこんなふうに歓迎されて、ほっとして、安心して過ごすことができるのでしょうか。地域の子育てを見守る、多くの支え手の皆さんのお声を聞かせていただき、対面の良さや人のぬくもりの素晴らしさを改めて感じました。

ありがとう
ございました！



かめっ子訪問ニュース★ご存じですか？

各会場の様子が伝わる写真(ご了解済み)や、さまざま声などを1枚にまとめ「訪問ニュース」として親がめのホームページで発信しています♪ のぞいてみてください♡



親がめホームページ

↓ 右下にある

かめっ子訪問ニュース



かめっ子全体交流会のお知らせ

日時…6月30日(月)10時~12時

場所…かなーちえ

うちのかめっ子のこと、他のかめっ子の知恵、
気になる事、なんでもたっぷりと
語り合いましょ！

詳細はチラシにてお知らせします。

インスタグラムでPR

うちのかめっ子をもっと知ってほしい！
遊びに来る親子が増えると良いな！
そんな時、かなーちえのホームページや
インスタグラム(子育て世代がよく見ている)で、活動のPRや告知ができますよ。
「ぜひ！」というかめっ子さんは、
かなーちえまでお電話まっています。

【編集後記】

令和7年度、

すくすくかめっ子は

いよいよ

25周年を迎えます

開始当時、小学生だった

娘は36歳になり、

高校生と小学3年生に

なる孫娘たちは

まちのかめっ子の支え手の

皆さんに声をかけて

いただきながら

すくすく育っています

安全を見守ってくださる

毎朝の通学路で、地域の

「みち・すきまあそび」の

イベントで、お祭りで、

買い物に行くスーパーで

顔を合わせ

あいさつを交わし合える

かけがえのない日々が

積み重なった25年

感謝の気持ちで

いっしょに

いっしょに